

# 出雲歌舞伎むらくも座

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 代表者   | 渡部 良治                         |
| 所在地   | 〒693-0504 島根県出雲市佐田町大呂 1073 番地 |
| 設立年月日 | 1975年1月1日                     |
| URL   | http://www.abcdefg.org.jp/    |

## 【設立趣旨】

歌舞伎の始祖「出雲阿國生誕の地」といわれる出雲地方に伝わりながら、戦後演じられなくなった「出雲歌舞伎」を発掘し、再び蘇らせることにより地方を活性化させたいと、父や兄が演じた出雲歌舞伎を観て育った若者により昭和50年「出雲歌舞伎 むらくも座」を結成した。

## 【沿革】

出雲歌舞伎の起源は古く、江戸時代とも言われているが、近代では大正の中期より、広島県北広島町出身の歌舞伎役者「嵐美里」を迎え指導を受け、出雲地方の人々によって盛んに演じられた。しかし、戦後は連合軍の占領政策により、刀剣などの小道具や台本が没収され上演が途絶えた。だが娯楽と地方文化再興を願う住民の求めにより、この地方に定住した「嵐美里」によって再び台本が作成され、秋祭りの余興などで盛んに演じられ、出雲歌舞伎は再び隆盛を極めた。さらに昭和30年代の高度成長期、出稼ぎや、若者の都市への流出での過疎化により演じ手がいなくなり、昭和35年の上演を最後に途絶えてしまった。

## 【活動目的】

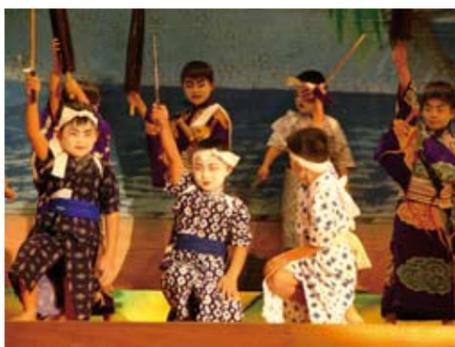
戦前戦後を通じ、出雲歌舞伎が盛んに演じられていた当時の資料をもとに、携わっていた人たちの指導を受け、昭和50年に第1回目の復活公演を行い、以来34年間毎年秋に定期公演によって出雲歌舞伎の内36の演目を復活させている。また歌舞伎を通じ、住民を交えた歌舞伎フェスティバルなどの地域間交流、外人青年に歌舞伎を演じさせる国際交流歌舞伎と、2度にわたる海外公演。高校生対象の歌舞伎鑑賞教室の開催や、こども歌舞伎の指導など地方文化の担い手として、地域の活性化に貢献している。現在、24歳から94歳までの25人の団員（役者12人、スタッフ13人）で構成され、ほかボランティアスタッフなどの協力を得ている。

## 【活動内容】

出雲歌舞伎が盛んに演じられていた当時の資料や、携わっていた人たちの指導を受け、34年間出雲歌舞伎を復活させ、中にはこの地方にのみ伝わる全国でも珍しい独自の演目もあった。

平成11年には劇団が中核となり、民間団体に構成する「出雲歌舞伎の里づくり実行委員会」を結成し、地域ぐるみで出雲歌舞伎の復活と歌舞伎を活用した地域の活性化に努めてきたものの、多額の経費を要するため見送ってきた演目を、平成15年度より6年間「芸術文化振興基金」や「しまね文化ファンド」の助成を受け毎年2つの演目を復活上演し、合計12本を復活することが出来た。

後継者育成として、小中学生を対象とした「歌舞伎教室」「子供歌舞伎」などを開催している。また、復活した出雲歌舞伎の普及と保存伝承を推進するため、最近では、次のような公演機会を得て出雲歌舞伎を披露した。



こども歌舞伎指導

平成10年9月1日EXPO'98リスボン国際博覧会ジュバルホールとプロムナードステージへ出演（ポルトガル）

平成15年10月11日「全国地歌舞伎交流大会」を開催、出演（出雲市）

平成16年1月文化庁主催「全国ふるさと歌舞伎フェスタ」出演（渋谷NHKホール）  
平成16年11月国民文化祭・ふくおか2004「地歌舞伎の祭典」に出演（福岡市）

平成17年11月ジャパンウィークでイタリアナポリ・ベリーニ歌劇場へ出演（ナポリ市）

平成18年11月国民文化祭・やまぐち2006「地歌舞伎の祭典」出演（長門市）

平成21年11月国民文化祭・しずおか2009「地歌舞伎の祭典」出演（湖西市）



蝶千鳥茶屋場の段・助六と揚巻、幾助と意休



児雷也豪傑譚話

## 【活動上の課題と今後の展望】

平成20年までに36演目を復活させたが、残る10本の演目は多額の経費を要するため見送っているものの、指導者の高齢化が進み近年のうちに復活上演させ、保存することが急務となっている。むらくも座を中核とする「出雲歌舞伎の里づくり実行委員会」は、「島根県地歌舞伎連合会」の協力と、行政等の支援を受けて向こう5年間、毎年2本を復活させ、平成25年度には出雲歌舞伎の復活を完成させたい。

復活させた演目は、毎年9月中旬に「ゆかり館」と、11月最終日曜日に「スサノオホール」で上演すると同時に、機会あるごとに出張公演を行うことによって、出雲歌舞伎の再興と普及をはかり地域特有の文化を発展させる。

歌舞伎の始祖「出雲阿國」生誕の地といわれる出雲市には「出雲阿國」の墓などのゆかりの地がある。

文化振興による観光大国を目指している出雲市において、出雲歌舞伎の演目の上演と保存は、文化振興と観光で地域の活性化事業として期待されている。

また小中学生を対象とした歌舞伎の化粧や衣裳の実演による「歌舞



蝶千鳥茶屋場の段

伎教室」「子供歌舞伎」などの開催や、県立大社高校佐田分校からの「歌舞伎鑑賞教室」の開催要請にも応じ、保存と伝承を推進し、歌舞伎人口を増やすことにより地域文化の一翼を担いたい。